

～電気通信大学 学生の皆様へ～

1. はじめに

調布市の学習支援事業の第一の特徴は、学生ボランティアがマンツーマンで中学生の学習支援を行う点です。学生ボランティアが事業の要といっても過言ではありません。けれども、学生である以上、卒業して社会人になるとボランティアを続けることはできません。そこで毎年新たなボランティアを確保しなければなりません。また、教える科目の関係から、文系と理系両方の学生さんに参加してもらう必要があります。これまでも電気通信大学の学生さんに協力していただきましたが、コロナ禍で直接お話しすることが難しい状況にあります。そこで今回、文章で協力をお願いをすることにいたしました。

2. 学習支援事業とは

「貧困」※1による不利は、学校における学業達成の不利の要因となり、それが、その後の学歴や職業に影響することによって、子どもたちが将来にわたって貧困の状態におかれることを、防ぐために国が補助金を出しておこなう事業（※1 現在の子どもの相対的貧困率は13.5%）

3. 大学生ボランティア登録認数

全体登録数：83名

電気通信大学生の登録数：37名

4 電通大の学生さんの強み

- ・理数系の科目の指導に長けているので、文系の大学生と役割分担して教えてもらえる
 - ・プログラミングやゲームのことなど、中学生が興味を持って聞くことができる話題について語ることができる
 - ・真面目で、誠実な人柄で、中学生からの信頼が厚い ※2
 - ・大学が近いこともあり、ボランティアが急なお休みで不足する場合、緊急でも参加してもらえる
- ※2 例1：電通大生を尊敬し、高校生になっても、がんばっている報告をするために会いに来る
例2：専門分野の話に興味を持ち、本を紹介してほしいと自分から頼む
例3：不登校で外出も少なかったが、ギターという共通の趣味をもつ学生さんと会い、それをきっかけに数学を習うために通えるようになる

5 大学生からの感想

- ・ここあの学習支援を通して、自分の『知識』が『やさしさ』になると感じられるようになりました。様々な家庭環境で暮らす子どもたちの存在を知り、「知らないとできない配慮」ができるようになりました。大学卒業後に中学校教諭として働くことが決まっているので、働く前にそれが身につけてよかったです。
- ・中学生相手にきちんと教えられるか不安だったが、今ではそうではないと感じている。塾と近いものに見えたが、ただ勉強を教える場ではないので、課題が多種多様でやりがいがある。
- ・中学生の学習における様々な状況や、その他家庭環境など、学習支援に参加していなかったら、ニュースなどで知っていても、実際に身近で感じることはできなかったもので、とてもいい経験になった。